

# ① 適正な土地利用の推進

<b>継続</b>	<b>地籍調査事業費</b>	<b>3,978万円</b>
		(前年度) 4,681万円
<b>担当課</b>	<b>農林畜産課</b>	<b>電話番号</b> 74-8094

**1. 本市の現状と課題**

本市の地籍調査進捗率は令和元年度末の時点で約45%であり、富山県の平均を上回っています。本事業では、法務局に備え付けられている公図と登記簿の情報をもとに、土地に関する記録を正確に整備し地籍の明確化を図るため、計画的に地籍調査を実施しています。

**2. 令和2年度事業の内容**

今年度は①堀田の集落周辺(堀田Ⅰ調査区)と②森寺及び指崎の集落周辺(森寺Ⅱ・指崎調査区)の2箇所で地籍調査を行います。①では地籍図根三角測量及び一筆地調査を行います。②では図面の作成を行い、その出来上がった図面を住民の方々に関覧していただく機会を設けます。

**3. 目標値または実施により求める効果**

調査が完了すると土地に関する情報が明らかになり、境界をめぐるトラブルの未然防止や土地取引の円滑化につながります。また、災害時には災害箇所の早期復旧に役立ちます。

(単位:万円)

財源	県の負担	2,865	経費内訳	委託料	3,167
	手数料	3		報酬	376
	市の負担	1,110		その他	435



調査前の公図  
調査後の地籍

<b>拡充</b>	<b>まちなか整備事業費</b>	<b>3,531万円</b>
		(前年度) 595万円
<b>担当課</b>	<b>都市計画課</b>	<b>電話番号</b> 74-8078

**1. 本市の現状と課題**

「氷見まちなかランドデザイン」及び「氷見市立地適正化計画」に基づき、まちなか市街地の魅力向上や賑わいの創出を図るとともに、持続可能な都市構造を目指す必要があります。

**2. 令和2年度事業の内容**

氷見駅周辺の更なる利便性や魅力向上を目的とした駅前道路の拡張整備や、駐車場整備にかかる調査設計を行います。

また、まちなかにおける定住促進を図るため、住宅団地造成への助成を行います。

**3. 目標値または実施により求める効果**

駅前広場の一部を拡張し、現在一方通行のロータリーを一部二車線とすることなどで、スムーズな交通導線を確保し、利用者の利便性向上を図ります。

(単位:万円)

財源	国の負担	1,561	経費内訳	委託料	2,015
	市債	1,000		補助及び交付金	1,500
	市の負担	970		その他	16



氷見駅前の用地

# ① 適正な土地利用の推進

継続 都市計画再構築事業費

1,257万円

(前年度)

904万円

担当課 都市計画課

電話番号 74-8078

## 1. 本市の現状と課題

本市における都市計画道路は現在23路線ありますが、13路線の一部又は全部が長期未着手・未完成となっています。都市計画道路の区域内では、将来事業決定されたときに、建物を取り壊す可能性があることから、3階建てや地下のある建築物または、鉄筋コンクリートの建築物は建築できないなど、建てられる建物の選択肢が限られています。そのため計画の見直しを検討し、その地域にふさわしい土地利用の実現を図る必要があります。

## 2. 令和2年度事業の内容

令和元年度に定めた長期未着手路線の見直し方針に基づき、都市計画の変更手続きを行います。

## 3. 目標値または実施により求める効果

人口減少などの社会情勢の変化に応じた都市計画道路網の再構築を図ります。

都市計画道路を廃止した場合は、その沿道において鉄筋コンクリートの建物などが建築できるようになります。

(単位:万円)

財源	国の負担	432	経費内訳	委託料	1,252
	市の負担	825		消耗品費	3
				その他	2



長期未着手となっている都市計画道路

## ② 快適な住空間づくり

継続	空き家活用まちづくり事業費	953万円			
		(前年度) 911万円			
担当課	地域振興課	電話番号 74-8075			
<b>1. 本市の現状と課題</b>					
<p>空き家の増加が見込まれる中、そのまま放置されると、老朽化の進行とともに外壁や瓦などの落下、倒壊など周囲に危険を及ぼす恐れがあります。そうなる前に空き家の改修を行い、移住される方などへ貸し出す等、住まいとして有効活用してもらうことで、地域資源の再生に取り組む必要があります。</p>					
<b>2. 令和2年度事業の内容</b>					
<p>空き家を改修し空き家情報バンクに登録していただける方へ改修等に要する経費の1/2(上限100万円)を助成するほか、市が空き家を借り上げ、所有者に代わりリフォームし、賃貸希望者へ貸し出すモデル事業を実施します。また、歴史的建造物である土蔵を有効活用しながら保存していきます。</p>					
<b>3. 目標値または実施により求める効果</b>					
<p>歴史的に価値のある建造物や負の遺産として捉えがちな空き家を地域資源として活用することで、まちに新たな魅力を創出していきます。</p>					
(単位:万円)					
財源	県の負担	150	経費内訳	工事請負費	400
	その他	315		補助及び交付金	200
	市の負担	488		その他	353
					
空き家の改修					

継続	危険老朽空き家対策事業費	858万円			
		(前年度) 840万円			
担当課	地域振興課	電話番号 74-8075			
<b>1. 本市の現状と課題</b>					
<p>本市の人口は今後一層減少することが予想され、空き家は益々増加することが見込まれます。こうした空き家が放置され、周囲に危険を及ぼす危険老朽空き家が増えることの無いよう、市内の空き家の個別の状態や分布状況などを十分に把握し、それに応じた対策を検討・実施していく必要があります。</p>					
<b>2. 令和2年度事業の内容</b>					
<p>市街地の危険老朽空き家において、市に土地建物を寄附した場合、市が解体撤去を行います。市内の危険老朽空き家のうち、特に解体撤去の必要性が認められる個人が所有する住居の解体撤去を行う場合、対象となる除却費の2/3(上限50万円)を補助します。</p>					
<b>3. 目標値または実施により求める効果</b>					
<p>危険老朽空き家を除去し、地域住民の生命、身体および財産を保護するとともに、その生活環境の保全を図ります。</p>					
(単位:万円)					
財源	基金繰入金	760	経費内訳	工事請負費	540
	国の負担	95		補助及び交付金	300
	市の負担	3		役務費	18
					
危険老朽空き家					

## ② 快適な住空間づくり

拡充	都市公園整備事業費(朝日山公園整備事業費)	8,229万円			
		(前年度) 5,250万円			
担当課	都市計画課	電話番号 74-8076			
<b>1. 本市の現状と課題</b>					
朝日山公園は、氷見市地域防災計画において市街地全域の緊急避難場所に指定されており、市街地に隣接した高台の避難場所として位置づけられております。また、市民の休息や散歩、レクリエーションができる広場の整備を行い、公園利用者の増加や安全性の向上を図ります。					
<b>2. 令和2年度事業の内容</b>					
令和2年度末の完成を目指し、防犯や歩行者の安全を図るための園路灯の整備や園路舗装、斜面を利用した大型遊具の設置を予定しております。また、展望台のある朝日山公園と現在整備中の公園は、二つに分断されていることから、連絡方法などを検討します。					
<b>3. 目標値または実施により求める効果</b>					
本公園は市内随一の展望地であり、多くの市民の憩いの場となっております。また、二つの公園を結ぶことにより、より一体的に利用でき、多くの市民の皆様が様々な目的で公園を利用していただけるよう、魅力あふれる公園整備を行います。					
(単位:万円)					
財源	国の負担	2,150	経費内訳	工事請負費	4,000
	市債	2,300		委託料	3,931
	その他	3,779		その他	298
					
			朝日山公園休憩施設		

継続	安全・安心とやまの住まい耐震化促進事業費	109万円			
		(前年度) 114万円			
担当課	都市計画課	電話番号 74-8079			
<b>1. 本市の現状と課題</b>					
近年大地震が多発している現状にあり、地震発生時における木造住宅の倒壊等による災害を未然に防止しなければなりません。住宅耐震化の必要性について市民の関心は薄いため、これを周知し、住宅耐震化を推進する必要があります。					
<b>2. 令和2年度事業の内容</b>					
木造住宅の耐震改修費用の一部を助成します。					
耐震性が無いと想定される木造住宅の所有者へ、耐震化を促すダイレクトメールを送付します。					
<b>3. 目標値または実施により求める効果</b>					
地震発生時における木造住宅の倒壊等による災害を未然に防止します。					
(単位:万円)					
財源	県の負担	50	経費内訳	補助及び交付金	100
	国の負担	29		通信運搬費	9
	市の負担	30			
					
			耐震改修啓発チラシ		

## ② 快適な住空間づくり

継続	公営住宅長寿命化事業費	2,680万円			
		(前年度) 3,182万円			
担当課	都市計画課	電話番号 74-8079			
<b>1. 本市の現状と課題</b> 公営住宅は園団地を除き老朽化が進んでいます。人口減少が進む中、公営住宅の需要は横ばいで、施設の計画的な維持管理(修繕・改修)を行い長寿命化していく必要があります。					
<b>2. 令和2年度事業の内容</b> 朝日丘市営住宅2号棟外壁外断熱改修工事、朝日丘市営住宅3号棟屋上断熱防水改修工事、大野市営住宅内部改修水洗化工事を行います。					
<b>3. 目標値または実施により求める効果</b> 公営住宅長寿命化計画に基づき、ライフサイクルコストの削減を目指します。 また、安全で快適な住まいを確保します。					
(単位:万円)					
財源	国の負担	1,215	経費内訳	工事請負費	2,680
	市の負担	1,465			
 朝日丘市営住宅2号棟					

継続	設備拡張事業【事業会計】	6,004万円			
		(前年度) 4,480万円			
担当課	上下水道課	電話番号 74-8208			
<b>1. 本市の現状と課題</b> 基幹管路(φ400mm以上)において、配水支管の整備の遅れから、やむなく給水分岐を行っている状況があります(令和2年3月現在:31件)。そのため、漏水発生など強靱な水道施設の構築に悪影響を与えることが懸念されています。					
<b>2. 令和2年度事業の内容</b> φ50~100mm 配水用ポリエチレン管、ダクタイル鋳鉄管 L=665mを布設します。					
<b>3. 目標値または実施により求める効果</b> 令和3年度末までに基幹管路(φ400mm以上)における給水分岐件数0件を目指します。					
(単位:万円)					
財源	一般会計負担金	280	経費内訳	施設費	5,930
	一般財源	5,724		委託料	44
 給水活動の様子					

## ② 快適な住空間づくり

拡充 老朽管更新事業【事業会計】

4億7,544万円

(前年度) 3億6,308万円

担当課 上下水道課

電話番号 74-8208

### 1. 本市の現状と課題

耐用年数40年を経過した耐震性のない管路の更新、漏水事故が多発する管路の更新、鉛給水管の更新を併せて、計画的に更新を行っています。人口減少や市民の節水志向により、水需要は減少しており、将来の水需要予測を踏まえた適正な口径での管路更新が必要となっています。

### 2. 令和2年度事業の内容

φ100～400mm 配水用ポリエチレン管、ダクタイル鋳鉄管、水管橋 L=2,627mを布設替します。

### 3. 目標値または実施により求める効果

管路の耐震化により、災害に強い強靱な水道管路の構築を図ります。

(単位:万円)

財源	市債	22,980	経費内訳	施設費	43,000
	負担金	280		委託料	2,960
	一般財源	24,284		その他	1,584



### ③ 能越自動車道、幹線道路から生活道路までの道路ネットワークづくり

継続	街路リフレッシュ整備事業費	1,568万円			
		(前年度)	1,575万円		
担当課 道路課		電話番号	30-7070		
<b>1. 本市の現状と課題</b>					
昭和13年の大火復興以降に施工された市街地の道路側溝の老朽化が著しく、道路側溝の計画的な改修が必要となっています。					
<b>2. 令和2年度事業の内容</b>					
朝日本町地内朝日地蔵2号線ほか4路線について、蓋掛け等側溝改修を行います。					
<b>3. 目標値または実施により求める効果</b>					
市街地の老朽化した側溝を改修することにより、自動車や歩行者の安全な通行を確保します。					
(単位:万円)					
財源	国の負担	758	経費内訳	工事請負費	1,500
	市債	810		消耗品費	6
				その他	62



継続	道路維持補修事業費	1億638万円			
		(前年度)	9,637万円		
担当課 道路課		電話番号	30-7070		
<b>1. 本市の現状と課題</b>					
安全かつ快適・円滑な交通環境を確保するため、市道の適正な維持管理に努めるとともに、道路修繕や草刈等に関する地域からの要望に応じていく必要があります。					
<b>2. 令和2年度事業の内容</b>					
地域からの要望に伴う道路修繕のほか、泊地内市道泊海岸線ほか9路線の道路補修を行います。草刈や路面清掃など道路の維持管理に努めます。					
<b>3. 目標値または実施により求める効果</b>					
市道の適正な維持管理に努め、安全かつ快適・円滑な交通環境を確保します。					
(単位:万円)					
財源	国の負担	758	経費内訳	工事請負費	3,670
	市債	3,530		修繕料	1,900
	その他	6,350		その他	5,068



### ③ 能越自動車道、幹線道路から生活道路までの道路ネットワークづくり

継続	道路舗装補修事業費		5,720万円		
			(前年度) 6,030万円		
担当課	道路課	電話番号	30-7070		
<b>1. 本市の現状と課題</b>					
道路パトロールを定期的に行い、必要に応じて道路舗装の損傷箇所を補修しています。また、舗装修繕に関する地域からの要望にも応えていく必要があります。					
<b>2. 令和2年度事業の内容</b>					
堀田地内堀田五十里線ほか9路線について舗装補修を行うほか、地域からの要望修繕にも出来る限り対応します。					
<b>3. 目標値または実施により求める効果</b>					
市道の舗装補修を行うことにより、安全・安心な交通環境を確保します。					
(単位:万円)					
財源	市債	4,820	経費内訳	工事請負費	4,700
	市の負担	900		修繕料	900
			その他	120	



継続	道路空間整備事業費		2,588万円		
			(前年度) 2,594万円		
担当課	道路課	電話番号	30-7070		
<b>1. 本市の現状と課題</b>					
市街地近郊の道路側溝の老朽化が著しく、道路側溝の計画的な改修が必要となっています。					
<b>2. 令和2年度事業の内容</b>					
小竹地内下田子海老坂線ほか6路線について、蓋掛け等側溝改修を行います。					
<b>3. 目標値または実施により求める効果</b>					
市街地近郊の老朽化した側溝を改修することにより、自動車や歩行者の安全な通行を確保します。					
(単位:万円)					
財源	国の負担	758	経費内訳	工事請負費	2,500
	市債	1,830		消耗品費	18
			その他	70	



### ③ 能越自動車道、幹線道路から生活道路までの道路ネットワークづくり

継続	辺地債道路整備事業費	6,930万円					
		(前年度) 7,170万円					
担当課	道路課	電話番号 74-8074					
<b>1. 本市の現状と課題</b>							
<p>氷見市は三方を山々に囲まれ、その中山間地には多くの集落が点在し、高齢化が進む地域の人々の安心で安全な道路交通機能の確保が急がれており、辺地対策事業債を活用して6路線の道路整備を進めています。</p>							
<b>2. 令和2年度事業の内容</b>							
<p>市道三尾見内線(用地補償1式) 市道磯辺村木線(補償1式)          市道深原三田窪線(L=120m工事 新工区測量設計1式) 市道棚懸坪池線(L=60m工事)          市道惣領鞍骨線(L=75m工事)市道片貝平の山線(測量設計1式)</p>							
<b>3. 目標値または実施により求める効果</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・狭隘で見通しの悪いカーブ区間改良(三尾見内線・深原三田窪線)</li> <li>・狭隘区間の解消(惣領鞍骨線・棚懸坪池線・片貝平の山線)</li> <li>・見通しの悪い交差点改良(磯辺村木線)</li> </ul>							
(単位:万円)							
財源	市債	6,930					
	経費内訳	<table border="1"> <tr> <td>工事請負費</td> <td style="text-align: right;">4,050</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td style="text-align: right;">1,510</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">1,370</td> </tr> </table>	工事請負費	4,050	委託料	1,510	その他
工事請負費	4,050						
委託料	1,510						
その他	1,370						
		 <p>冬期間の通行困難な片貝平の山線(中田)</p>					

継続	市単道路改良事業費	4,170万円					
		(前年度) 6,460万円					
担当課	道路課	電話番号 74-8074					
<b>1. 本市の現状と課題</b>							
<p>市民生活に密着する生活道路について、安全性の確保や利便性の向上を目的とした数多くの要望があります。このような声に対し、地域の実情に応じた道路機能を確保するため市単道路改良事業にて、4路線の整備に取り組んでいます。</p>							
<b>2. 令和2年度事業の内容</b>							
<p>市道瀬間田3号線(用地補償1式) 市道指崎稻積線(補償1式)          市道加納池田線(用地・測量設計・L=50m工事1式 新規) 市道環状南線(土質調査1式 新規)</p>							
<b>3. 目標値または実施により求める効果</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・集落内における行止まりの解消(加納池田線)・狭隘区間の拡幅改良(指崎稻積線)</li> <li>・密集住居地域における緊急車両進入路の確保(瀬間田3号線)</li> <li>・南インターアクセス道路基礎調査(環状南線線)</li> </ul>							
(単位:万円)							
財源	市債	4,170					
	経費内訳	<table border="1"> <tr> <td>委託料</td> <td style="text-align: right;">1,600</td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td style="text-align: right;">1,360</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">1,210</td> </tr> </table>	委託料	1,600	工事請負費	1,360	その他
委託料	1,600						
工事請負費	1,360						
その他	1,210						
		 <p>緊急車両の進入確保 瀬間田3号線(泊)</p>					

### ③ 能越自動車道、幹線道路から生活道路までの道路ネットワークづくり

継続 社会資本整備総合交付金道路改良事業費

1億2,344万円

(前年度) 2億1,452万円

担当課 道路課

電話番号 74-8074

#### 1. 本市の現状と課題

市内の道路網を形成する幹線市道において、安全・円滑・快適に通行できる道路本来の持つ機能が今だ確保されていない路線が数多く存在します。これらの路線整備は事業規模が大きく、国の社会資本整備総合交付金 防災・安全交付金事業を活用し、6路線の整備を進めます。

#### 2. 令和2年度事業の内容

市道鞍川霊峰線バイパス(道路改良L=810m) 市道下久津呂深原線(道路舗装L=200m)  
 市道上庄中央線(用地補償1式 一部工事) 市道大浦石坊線(道路改良 L=100m)  
 市道沖布5号線(測量設計1式 新規) 市道幸町11号線(L=140m(暫定)工事 新規)

#### 3. 目標値または実施により求める効果

- ・交通ネットワークの多重化や国道への渋滞解消そして防災支援(鞍川霊峰線令和3年3月供用開始)
- ・子育て施設への安全で安心な道路整備(沖布5号線)・歩行者空間の安全確保(大浦石坊線・幸町11号線) ・国道整備に伴う周辺市道整備(上庄中央線)

(単位:万円)

財源	国の負担	5,944	経費内訳	工事請負費	9,350
	市債	6,400		委託料	1,080
			その他	1,914	



ふれあいの森へ整備が進む鞍川霊峰線BP

## ④ 地域交通の確保

<b>拡充</b>	<b>新交通システム導入検討事業費</b>	<b>3,076万円</b>														
		(前年度) 462万円														
<b>担当課</b>	<b>地域振興課</b>	<b>電話番号 30-2949</b>														
<b>1. 本市の現状と課題</b>																
<p>本市を訪れている観光客の多くは滞在時間が短い傾向にあります。</p> <p>年間120万人を超える観光客が訪れる道の駅「ひみ番屋街」から、中心市街地への新たな回遊をつくり、本市での滞在時間の延長を図る必要があります。</p>																
<b>2. 令和2年度事業の内容</b>																
<p>本市を訪れる観光客が楽しく中心市街地を回遊することができる魅力的な新型モビリティを導入します。</p> <p>これと連動して、中心市街地の魅力的な観光資源等の情報等を一元的に発信するスマホ向けアプリを提供します。</p>																
<b>3. 目標値または実施により求める効果</b>																
まちなかの賑わい創出と観光客の滞在時間の延長を図ります。																
(単位: 万円)																
<b>財源</b>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>国の負担</td> <td style="text-align: right;">1,520</td> </tr> <tr> <td>市債</td> <td style="text-align: right;">1,060</td> </tr> <tr> <td>市の負担</td> <td style="text-align: right;">496</td> </tr> </table>	国の負担	1,520	市債	1,060	市の負担	496	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>経費内訳</td> <td> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>備品購入費</td> <td style="text-align: right;">1,520</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td style="text-align: right;">918</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">638</td> </tr> </table> </td> </tr> </table>	経費内訳	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>備品購入費</td> <td style="text-align: right;">1,520</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td style="text-align: right;">918</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">638</td> </tr> </table>	備品購入費	1,520	委託料	918	その他	638
国の負担	1,520															
市債	1,060															
市の負担	496															
経費内訳	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>備品購入費</td> <td style="text-align: right;">1,520</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td style="text-align: right;">918</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">638</td> </tr> </table>	備品購入費	1,520	委託料	918	その他	638									
備品購入費	1,520															
委託料	918															
その他	638															
		 <p>新型モビリティイメージ写真</p>														

<b>拡充</b>	<b>NPOバス運営推進事業費</b>	<b>3,539万円</b>												
		(前年度) 3,151万円												
<b>担当課</b>	<b>地域振興課</b>	<b>電話番号 30-2949</b>												
<b>1. 本市の現状と課題</b>														
<p>中山間地域などでは、路線バスの維持が困難な地域があります。これらの地域では特定非営利活動法人によりNPOバスが運行されており、この移動手段を維持するため、NPOバスの運行を支援する必要があります。</p> <p>これらの地域住民の高齢化により、利用者やバスの運転手等の確保が課題となっています。</p>														
<b>2. 令和2年度事業の内容</b>														
<p>NPOバスを運行する特定非営利活動法人に対し、NPOバスの運行に係る費用の一部を補助します。</p> <p>また、公共交通空白地有償運送を実施するために必要な「氷見市過疎地域有償運送運営協議会」やNPOバス業者と連絡調整を行う「氷見市NPOバス事業者連絡協議会」を開催します。</p>														
<b>3. 目標値または実施により求める効果</b>														
中山間地域などにおける高齢者や高校生などの移動手段を確保します。														
(単位: 万円)														
<b>財源</b>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>県の負担</td> <td style="text-align: right;">847</td> </tr> <tr> <td>市債</td> <td style="text-align: right;">390</td> </tr> <tr> <td>市の負担</td> <td style="text-align: right;">2,302</td> </tr> </table>	県の負担	847	市債	390	市の負担	2,302	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>経費内訳</td> <td> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>補助及び交付金</td> <td style="text-align: right;">3,538</td> </tr> <tr> <td>食糧費</td> <td style="text-align: right;">1</td> </tr> </table> </td> </tr> </table>	経費内訳	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>補助及び交付金</td> <td style="text-align: right;">3,538</td> </tr> <tr> <td>食糧費</td> <td style="text-align: right;">1</td> </tr> </table>	補助及び交付金	3,538	食糧費	1
県の負担	847													
市債	390													
市の負担	2,302													
経費内訳	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>補助及び交付金</td> <td style="text-align: right;">3,538</td> </tr> <tr> <td>食糧費</td> <td style="text-align: right;">1</td> </tr> </table>	補助及び交付金	3,538	食糧費	1									
補助及び交付金	3,538													
食糧費	1													
		 <p>NPOバス車両</p>												

## ④ 地域交通の確保

継続	生活路線バス維持対策事業費	<b>26万円</b>			
		(前年度) 25万円			
担当課 地域振興課		電話番号	30-2949		
<b>1. 本市の現状と課題</b>					
生活路線バスは通勤、通学、通院、買い物などの地域住民の日常生活を支える公共交通機関として重要な役割を果たしていることから、利用の促進を図り、路線の維持・確保に努める必要があります。					
<b>2. 令和2年度事業の内容</b>					
水見市地域公共交通会議を開催するほか、路線バス乗降調査を行います。					
<b>3. 目標値または実施により求める効果</b>					
通勤、通学、通院、買い物などの地域住民の日常生活を支えるバス路線を維持・確保します。					
(単位:万円)					
財源	市の負担	26	経費内訳	委託料	16
				旅費	8
				その他	2



拡充	城端・氷見線地域公共交通総合連携事業費負担金	<b>470万円</b>			
		(前年度) 395万円			
担当課 地域振興課		電話番号	30-2949		
<b>1. 本市の現状と課題</b>					
JR氷見線は、JR城端線と一体となって通勤・通学など沿線住民の日常生活を支えるとともに、本市への来訪者が利用する公共交通機関として重要な役割を果たしているほか、北陸新幹線新高岡駅へのアクセス路線として重要な役割を担っていることから、両線を維持し、利便性の向上を図る必要があります。					
<b>2. 令和2年度事業の内容</b>					
城端・氷見線活性化推進協議会が実施する城端・氷見線の活性化のための事業の負担金を拠出します。協議会が実施する事業には、観光列車「べるもんた」車内でのおもてなし、両線利用状況調査、両線の直通化に向けた調査検討業務、氷見市街地周遊バス乗継助成をはじめとした利用促進対策などがあります。					
<b>3. 目標値または実施により求める効果</b>					
JR氷見線・城端線の利便性の向上により利用者の増加を図り、路線を維持することで、沿線住民の日常生活を支えます。また、北陸新幹線新高岡駅の利用者を飛越能地域に行き渡らせることで、地域経済を活性化させます。					
(単位:万円)					
財源	市の負担	470	経費内訳	負担金	450
				旅費	20



## ⑤ 情報通信基盤の整備・活用

継続	ケーブルテレビネットワーク光化推進事業費		3,599万円		
			(前年度) 3億3,152万円		
担当課	秘書広報課	電話番号	74-8201		
<b>1. 本市の現状と課題</b>					
<p>令和元年度にFTTH方式にて整備が完了した市が事業主体である中山間地のケーブルテレビ放送(能越ケーブルネットが指定管理者)について、現行の同軸ケーブル方式によるサービス終了を令和3年度末に予定していることから、光方式への着実な移行促進を図る必要があります。</p>					
<b>2. 令和2年度事業の内容</b>					
<p>氷見市エリアのケーブルテレビ契約数2,753件のうち、令和元年度内にFTTH方式へ移行(引込工事まで完了)した数が1,650件(移行率59.9%)となっており、2年度中に650件の移行を進めることで、80%を超える移行率を目指します。</p>					
<b>3. 目標値または実施により求める効果</b>					
<p>4K等高精彩放送の受信環境を整備するとともに、災害時における安定した情報通信手段の確保を図ります。</p>					
(単位:万円)					
財源	市債	2,360	経費内訳	委託料	2,760
	諸収入	293		負担金	459
	市の負担	946		その他	380

